

◇ 12月の天文暦 ◇

日 時	記 事
2 17	望
3 12	水 星 留
8 4	大 雪 (太陽黄経 255°)
10 1	下 弦
13	木 星 合
12 16	月 最 遠
13 6	水 星 内 合
18 4	朔
22 21	冬 至 (太陽黄経 270°)
23 7	水 星 留
25 11	上 弦
28 14	月 最 近

D.E. ビリングス

アメリカにもエリート・コースという言葉がありとすれば、いまでは太陽コロナ研究では第一人者といわれる Donald E. Billings の前半生はこのコースを進んだとはいえない。ハーバードやプリンストンと関係はなく、コロラド州立大学卒で同大学で Ph.D. をとっているからである。しかし、コロラド大学の構内に太陽コロナのメッカといわれる HAO がたまたま存在したことが彼をして今日あらしめたとは言えよう。

彼は1914年コロラド州南西部の Durango の農家に生まれた。教室が2つしかない辺地の小学校へ8年間馬に乗って通い、中学・高校・短大を近くで済ませて、やがてコロラド大学に入り1935年に卒業した。専攻は数学であった。彼の人生の最初の職はコロラド南西部の田舎の学校教師であった。2年ののち再びコロラド大学へ戻り、1941年物理の修士を獲得した。さらに Ph.D. クラスへのテストもパスしたが、その頃から戦争が激しくなると、彼は1942~45年の間アメリカ海軍に籍をおいて degaussing — ドイツ軍の磁気地雷・魚雷から船を防護する仕事 — に従事した。主として南カロライナの港町チャールストンに滞在していたが、そこでジョージア出身の今の夫人 Claire と知合い1945年に結婚した。戦争が



(撮影：成相恭二)

終わってすぐ彼は母校のあるボルダーに戻り、途切れていた Ph.D. のまとめに励んだ。Ph.D. 獲得後2年間レイジャナ州立大学助教授を勤めているうち、1951年に HAO 所員として迎えられ三度ボルダーに戻った。1962以来コロラド大学天文地物教室の教授でもある。

彼が HAO で最初にやった仕事はクライマックス天文台(HAO 所属)の太陽コロナ分光写真からコロナ線強度を毎日測定することであった。最初の論文は Roberts-Pecker との共著(1954)でコロナ黄線の同定に関するもの、また Lehman との論文(1962)ではコロナ赤線の線幅が緑線のそれより低温を示すことから、コロナが等温大気でない事を始めて確立したことなどはよく知られている。これらは他の数々の話題と共に名著 A Guide to the Solar Corona (1966) に盛られている。

ボルダー市アラパホ通りに夫人とふたりで住んでいて、子供がない代わりに庭は花で一杯、大学や HAO によく草花の鉢をもってきては皆の眼を楽ませしてくれる。所が今年の秋は9月に22吋という季節はずれの大雪がふって、彼の花園が一べんに全滅したと嘆きの便りを寄越した。筆者の数少ない知己の一人である。(斉藤国治)

